

第七十一回帝國議會  
衆議院

# 北支事件特別稅法案委員會會議錄(速記)第一回

付託議案  
北支事件特別稅法案(政府提出)

## 委員會成立

本委員ハ昭和十二年八月四日(水曜日)議長ノ指名ヲ以テ左ノ通選定セラレタリ

- |        |         |
|--------|---------|
| 小川郷太郎君 | 作田高太郎君  |
| 矢野庄太郎君 | 勝 正憲君   |
| 中島彌團次君 | 宮澤 胤勇君  |
| 村上 國吉君 | 松永 東君   |
| 仲井間宗一君 | 松田 正一君  |
| 濱野徹太郎君 | 清水留三郎君  |
| 菊池 良一君 | 北 吟吉君   |
| 松村 光三君 | 高橋 泰雄君  |
| 板谷 順助君 | 工藤十三雄君  |
| 箸本 太吉君 | 小笠原三九郎君 |
| 山口忠五郎君 | 山本 芳治君  |
| 河上 哲太君 | 若宮 貞夫君  |
| 大本貞太郎君 | 三善 信房君  |
| 井上 知治君 | 豐田 收君   |
| 藏原 敏捷君 | 永山 忠則君  |
| 小池 四郎君 | 片山 哲君   |
| 河野 密君  | 三輪 壽壯君  |
| 道家齊一郎君 | 渡邊 泰邦君  |

- |        |        |
|--------|--------|
| 小川郷太郎君 | 矢野庄太郎君 |
| 勝 正憲君  | 中島彌團次君 |
| 宮澤 胤勇君 | 村上 國吉君 |
| 松永 東君  | 仲井間宗一君 |
| 松田 正一君 | 濱野徹太郎君 |
| 清水留三郎君 | 菊池 良一君 |
| 北 吟吉君  | 松村 光三君 |
| 高橋 泰雄君 | 板谷 順助君 |
| 工藤十三雄君 | 箸本 太吉君 |
| 山口忠五郎君 | 山本 芳治君 |
| 河上 哲太君 | 若宮 貞夫君 |
| 大本貞太郎君 | 三善 信房君 |
| 井上 知治君 | 豐田 收君  |
| 永山 忠則君 | 小池 四郎君 |
| 片山 哲君  | 河野 密君  |
| 三輪 壽壯君 | 道家齊一郎君 |
| 渡邊 泰邦君 |        |

〔年長者星一君投票管理者ト爲ル〕

○星投票管理者 私ハ一番若イ者ト思ッテ

居リマシタガ、私ガ年少者ダト云フ抗議ヲ

申込シテモ許サレマセヌ、先例ニ依リマシ

テ、私ガ年長ノ故ヲ以テマシテ、投票管理

者トナリ、是ヨリ委員長及理事ノ互選ヲ行

ヒマス

○三善委員 委員長ノ選舉ハ、選舉ノ煩ヲ

省キマシテ、小川郷太郎君ヲ委員長ニ推薦

致シタイト思ヒマス、滿場ノ御賛成ヲ願ヒ

タイト思ヒマス

〔拍手起ル〕

○星投票管理者 三善信房君ノ御意見ニ御

異議ナイモノト認メマス、仍テ小川郷太郎君

ガ委員長ニ御當選ニナリマシタ——小川君

〔小川郷太郎君委員長席ニ著ク〕

○小川委員長 皆様ノ御推薦ニ依リマシ

テ、委員長ノ席ヲ汚スコトニ致シマス、此

委員會ニ付託セラレタ法律案ハ、蓋シ此議

會中ニ於テ最重要ナル案ノ一ツダト考ヘ

マス、皆様ノ御協力ニ依リマシテ委員長ノ

任務ヲ果シタイト存ジマス、今後宜シク御

願致シマス、引續キ理事ノ互選ヲ行ヒマス

○三善委員 理事ハ其數ヲ六名ト致シマシ

テ、委員長ニ於テ御指名アラシコトヲ望ミ

マス

○小川委員長 三善君ノ意見ニ御異議ナイ

ト認メマス、ソレデハ

作田高太郎君 矢野庄太郎君

小笠原三九郎君 三善 信房君

永山 忠則君 片山 哲君

以上六名ヲ理事ニ指名致シマス(拍手)

## 會議

昭和十二年八月四日(水曜日)午後六時十二分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 小川郷太郎君

理事 矢野庄太郎君 理事 三善 信房君

理事 永山 忠則君 理事 片山 哲君

勝 正憲君 中島彌團次君

宮澤 胤勇君 村上 國吉君

松永 東君 仲井間宗一君

松田 正一君 濱野徹太郎君

清水留三郎君 菊池 良一君

北 吟吉君 松村 光三君

高橋 泰雄君 板谷 順助君

工藤十三雄君 箸本 太吉君

山口忠五郎君 山本 芳治君

河上 哲太君 若宮 貞夫君

大本貞太郎君 井上 知治君

豐田 收君 小池 四郎君

河野 密君 三輪 壽壯君

道家齊一郎君 渡邊 泰邦君

出席國務大臣左ノ如シ

大藏大臣 賀屋 興宣君

出席政府委員左ノ如シ

大藏政務次官 太田 正孝君

大藏參與官 中村三之丞君

大藏省主稅局長 大矢半次郎君

大藏省銀行局長 入間野武雄君

大藏書記官 山田鐵之助君

大藏書記官 尾關 將玄君

大藏書記官 松隈 秀雄君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

北支事件特別稅法案(政府提出)

○小川委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、先

ヅ政府ヨリ案ノ御説明ヲ御願ヒスルコトニ

致シマス——賀屋大藏大臣

○賀屋國務大臣 北支事件特別稅法案ニ付

キマシテ其大要ヲ御説明申上ゲマス、北支

事件其後ノ情勢ニ伴ヒ、之ガ爲ニ要スル經

費モ相當多額ニ上ル見込デアリマシテ、是

ガ財源ノ大部分ハ公債ニ求ムルノデアリマ

スガ、其一部ハ之ヲ國民ノ負擔ニ求ムルコ

トヲ適當ト認メマシテ、茲ニ本案ヲ提出シタ

次第デアリマス、今本法案ノ大體ノ内容ヲ

申シマスレバ、先ヅ所得稅ニ付テ増徴スル

コトト致シタノデアリマス、即チ法人ニ對

シマシテハ、本法施行後一年內ニ終了スル

各事業年度ニ付キ課稅スルコトト致シ、第

一種所得稅額ノ一割ニ相當スル金額ヲ、第

二種所得稅額者ニ對シマシテハ、本法施行

後一年內ニ支拂ヲ受クル第二種所得ニ對ス

ル第二種所得稅額ノ五分ニ相當スル金額

ヲ、ソレトノ課稅スルコトト致シマシタ、

尤モ國債ノ利子ニ對スル第二種所得稅ニ付

キマシテハ、之ヲ課稅セザルコトト致シタ

ノデアリマス、個人ニ對シマシテハ、昭和

十二年度分第三種所得稅額ノ七分五厘ニ相

當スル金額ヲ課スルコトト致シマシタ、次

ニ臨時利得稅納稅者ニ對シマシテハ、此際

法人、個人共ニ其稅額ノ一割五分ヲ増徴ス

ルコトト致シ、法人ニアリテハ本法施行後一

年內ニ終了スル各事業年度ニ付キ、個人ニ

在リテハ昭和十二年分臨時利得稅額ニ付キ

課稅スルコトト致シマシタ次第デアリマス

尙ホ此際比較的高率ノ配當金及高利率ノ

公社債利子ノ支拂ヲ受ケマス者モ、亦比較

的負擔力アリト認メマシテ、配當金ニ付テ

ハ本法施行後一年內ニ支拂ヲ受クル利益ノ

配當ニ付キマシテ、配當率年七分ヲ超ユル

金額ノ一割ニ相當スル金額ヲ課稅シ、公社

債利子ニ付テハ外貨債利子ヲ除キマシテ、

本法施行後一年內ニ支拂ヲ受クル利子ニ對

シ、國債ニ在リテハ利率年四分、地方債及

社債ニ在リテハ利率年四分五厘ヲ超ユル金

額ノ一割ニ相當スル金額ヲ課稅スルコトト

致シタノデアリマス、其他寶石、半寶石、

眞珠、貴金屬製品、鼈甲製品、珊瑚製品、

寫眞機、映寫機、蓄音器、樂器等ノ特殊物

品ノ消費者ハ、比較的負擔力アリト認メ

マシテ、是等ノ物品ニ對シ本法施行ノ日ヨ

リ昭和十三年三月迄ニ販賣シ、製造場ヨリ

移出シ、又ハ保税地域ヨリ引取ヲ爲シタル

モノノ價格ノ百分ノ二十ニ相當スル消費稅

ヲ課スルコトト致シマシタ次第デアリマス

右申述べマシタ如ク、今回ノ増稅ニ當リ

マシテハ、一般大衆ノ負擔ニ歸スル租稅ノ

増徴ハ、極力之ヲ避ケテ積リデアリマス、

而シテ今回ノ増稅ハ事ノ性質上、地方團體

ニ對シマシテハ是ガ附加稅ヲ認メザルコト

トナシ、且ツ本稅法ノ施行ハ、之ヲ本年度

限り又ハ一年限りノモノト致シマシタ、其

歲入額ハ昭和十二年度ニ於テ六千六百餘萬

圓、昭和十三年度ニ於テ三千四百餘萬圓、

合計一億百餘萬圓ノ豫定デアリマス、尙ホ

外地ニ於キマシテモ、本特別稅ト同趣旨ノ

増徴ヲ行フコトトナッテ居リマス、何卒御審

議ノ上、速ニ御協贊アラントテ希望致シ

マス

○矢野委員 本日ハ此程度デ散會ヲ致シタ

イト思ヒマス

○小川委員長 一寸待ッテ下サイ、今資料ノ

御請求モアルト云フコトデアリマス、政府

ノ方ニ於テモ資料ヲモウ少シシマシタラ、

御願チ申サレルモノモアルサウデアリマ

ス、皆サンノ方デ御請求ニナル資料ガアリ

マスレバ、此際御述ヲ願ヒタイノデアリマ

ス——今役所ヲ出マシタサウデス、ソレダ

カラ五分程シマシタラ政府ノ資料ガ届クサ

ウデス——一寸懇談ニ入りマス、理事ノ方

デ一ツ明日ノ發言ニ付テ若シ御打合せガ出

來ルナラ、此機會ニヤッテ戴キタイ

〔速記中止〕

○星委員 大藏省ノ方ニ明日ニモ資料ヲ提

出シテ頂戴シタイト思ヒマス、ソレハ過去

ノ戰爭ニ於テ、區別ヲ言フナラバ、日清戰

爭、日露戰爭或ハ最近ノ歐羅巴ノ大戰ノ

時ノ、此戰爭ノ時ニ戰費トシテ支出サレタ

ルモノヲ、人件費以下、或ハ機械費、サウ

云フモノニ付テドウ云フコトニ大體ノ區別

ヲシタカ、其資料ヲ金額デナクテモ宜イ、

其時ニ從ッテ正式ノ「パーセンテージ」ヲ、

直接此運賃、軍器ニ幾ラ、或ハ歩兵隊ニ支

給スル着物トカ食物、サウ云フ風ナモノ

ノ、大體ノ戰費ノ内容ヲ、大藏省ハドノ程度ニ區別ガ出來テ居ルカ知リマセヌガ、ソレヲ六トカ十トカ云フコトニ區別シテアルナラバ、其「パーセンテージ」デ宜シウゴザイマスカラ、其資料ヲ出シテ貰フト大變ニ幸福ダト思ヒマス、斯ウ云フヤウナモノガ大藏省ニ於テ出來テ居ルト思ヒマス、其時ニ、今度其資料中ニ國產ノ物ト、ソレカラ外國ノ物トノ區別モ亦、大藏省ニ出來テ居ルト思ヒマスカラ御願致シマス、ソレカラ序ニ、私ハ決算委員會ニ於テ聞イタコトデアリマス、ソレハ此歳出ニ使ハレタルモノ「パーセンテージ」ヲ御聞キ致シマシタ、ソレハ書イタモノデ出シテ頂戴シタイ、斯ウ御願ヲシテ居ルノデアリマスガ、日本ノ此歳入モ歳出モ總テ通貨ヲ以テシテ居ル、斯ウ云フコトデアリマスガ、所謂通貨豫算、金錢豫算デアリマス、金錢ヲ以テ收入シマスガ、併シ之ヲ支出スル場合ニハ、ソレハ大體其支出ヲ三ツニ分ケルコトガ出來ハセヌカト思ヒマス、金ノ支出ニ對シテ金ガ還ッテ行クモノ、所謂公債、國庫證券ノヤウナモノニ對シテハ、金ヲ受ケテ金デ行ク、所謂公債ノ現金利子ハ金デ行キマス、併シ其他ノモノハ大抵人ト物トニ分ケルコトガ出來ルト思ヒマス、サウスレバ其物ト人ニ對

シテ行ク「パーセンテージ」、俸給或ハ勞銀、或ハ物——物ニ對シテモ原料トカ、ソレノ努力、ソレノ製造スル所謂工賃ト云フヤウナモノガ分ッテ居ルダラウト思ヒマス、其「パーセンテージ」ヲ御示シテ願ヒタイト申シマシタガ、決算委員會デハソレハ豫算ノ方デ知ッテ居ルダラウカラ、ソチラデ知ラシテ呉レルダラウ、斯ウ云フコトデアリマスガ、其「パーセンテージ」ヲ御示シテ願ヒタイ幸福ダト思ヒマス、委員長カラ御願シテ置イテ戴キタイト思ヒマス

○道家委員 此貴金屬ヤ寶石ヤ何カノ斯ウ云フ輸入ト、内地ノ消費、是ハドウ云フ根據カラ此數字ヲ出シタノデスカ、一應承リタイト思ヒマス、今見テ置クノニ一寸參考ニ承ッテ置キタイト思フノデアリマス

○大矢政府委員 只今ノ御尋ニ御答致シマス、ソレハ稅務署ヲシテ調べサセタノデアリマス

○矢野委員 資料ノ要求ヲ致シマス、是ハ澤山アリマスノデ、一々讀上ゲルノハ大變デアリマスカラ、時間ノ省略ノ爲ニ讀上ゲマセヌカラシテ、速記録ニ書留メ置キテ願ヒマス、ソレカラ私本年ノ春ノ議會ノ時ニ、稅制ノ委員會ニ於テ、大藏省ニ資料ヲ澤山ニ要求シタ、所ガ其當時主稅局長デアラレタ現在ノ次官カラシテ、議會ガ濟ンダラ必ズ資料ヲ届ケテヤラウト云フ御約束ヲ承ッテ居リマス、ソレハ此際是非一ツ履行シテ戴キタイト存ジマス、併セテ御願致シマス

(參照)矢野委員請求參考資料

- 一、臨時租稅增徴法ノ增徴率ト今回ノ增徴率トヲ加ヘテ、之ヲ稅率ニ直シタ場合ノ稅率如何、舊率、臨時增徴法今回ノ增徴ノ三者ヲ比較對照シテ示サレ度シ
- 二、今回ノ增徴ニヨル租稅構成比ノ變化如何、臨時租稅增徴法ニヨルソレト比較シテ示サレ度シ
- 三、舊稅額ニ比シテ今回ノ增徴後ノ稅額ハ何割ノ增稅ナルヤ(舊稅額トハ十二年度ニ增稅ナキ場合ノ稅收見込ヲ云フ)
- 四、今回ノ增徴各稅ノ稅收高ヲ舊稅法及臨時增徴法ニヨル十二年度稅收額ト比較シテ示サレ度シ
- 五、第一種普通所得稅、超過所得稅、清算所得稅、同族會社加算ニ就キ各增徴稅額ノ基本ヲ詳細ニ示サレ度シ
- 六、第二種所得稅ニ於テモ國債以外ノ公社債、其他及乙(舊稅法ニ於テ七・五%ノ稅ヲ徵收シ居レルモノ)各別ニ增徴稅額ノ基本ヲ示サレ度シ
- 七、第三種所得稅ニ就テハ各階級別ニ增徴率ヲ稅率ニ直シテノ稅率及所得金額百圓ニ付テノ稅額ヲ示サレ度シ、更ニ舊稅法ト比較シテノ各階級別ノ增徴割合ヲモ示

○小川委員長 永山君カラ今動議ガ出マシタガ、永山君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

○異議ナシト呼フ者アリ

○小川委員長 御異議ナキモノト認メマス、明日ハ午前十時ヨリ第十一號ノ決算委員會室ニ於テ開會致シマス

○星委員 最近ノ滿洲事件ニ對シテ「パーセンテージ」モ分ッテ居ッタラ、併セテ御願シタイト思ヒマス

○道家委員 一寸此間ヲ拜借シテ、明日ノ事項カモ知レマセヌガ、質問シテ宜シウゴザイマス

○小川委員長 今資料ガ來マシタカラ、資料ヲ配リマシタラ直グ散會スル積リデス——ソレデハ今日ハ是ニテ散會致シマス

午後六時四十三分散會

サレ度シ

八、臨時利得稅ニ就テハ法人、個人別ニ増徵稅額算出ノ基本ヲ示サレ度シ、而シテソレヲ舊稅法及臨時増徵法ニヨル稅額ト對照シ増徵割合ヲ示サレ度シ

九、七分以上ノ配當金ニ對スル一割課稅ノ稅收高算出ノ基本如何、第三種所得稅ノ各階級別ニ配當金百圓ニ對スル全課稅額ヲ示サレ度シ（所得ヲ全部配當ノ場合ト假定ス）、舊稅法ノソレト比較對照シテ

一〇、更ニ八月二日ノ相場ニヨッテ三四ノ株式ニ就テ増徵後ノ利廻リヲ例示サレ度シ（第三種所得稅ノ階級ハ適宜ノ處ヲ三四採ラレ度シ）而シテ増徵前ニ於ケル利廻リト比較サレ度シ

一一、株式配當總額及七分以上ノ配當額並ニソノ割合如何、尙全國會社ノ平均配當率如何

一二、四分以上ノ國債額ト全國債中ニ占ムル割合如何、各利子別國債高ヲ示サレ度シ、四分以上ノ國債ニ對スル一割課稅ノ算出ノ基本ヲ示サレ度シ

一三、尙四分以上ノ國債各種ニ就キ現在ノ利廻リト増徵後ノ利廻リ（相場ハ八月二日ノ相場ヲ適用）ヲ對照シテ示サレタシ、更ニ四分五厘以上ノ公社債ニ就テモ各種

別ニ國債同様ニ利廻リヲ算出シテ示サレ度シ

一四、四分五厘以上ノ公社債ヲ各種類別ニソノ總額ト比較シテ示サレ度シ、同時ニ稅收算出ノ基本ヲモ示サレ度シ

一五、國債及公社債利子（四分及四分五厘以上）ハ増徵後各稅ヲ綜合シテ千圓當リ幾何ノ課稅ヲ受クル事トナルカ（第三種所得稅ノ階級ハ適宜任意ノモノヲトリ、三四ニ付キ示サレ度シ、國債、公社債ハ各種別ニ示サレ度シ）

一六、株式、社債、地方債、國債、信託預金、定期預金ニ於テ各所得千圓ノ増徵後ノ稅引利廻リヲ増徵法ノソレト比較シテ示サレ度シ、尙元本ニ用ヒル各公社債、預金ハ任意ノモノヲ採ラレ度シ

一七、特殊消費稅ニ於テハ各課稅品目別ニ内地生産額及輸出入高竝ニ輸入ニ就テハ各關稅賦課稅率ヲ示サレ度シ

一八、更ニ各品目別ノ販賣高見込ヲ示サレ度シ